

平成 21 年度 播磨町水道事業報告書

概 況

(1) 総括事項

本年度の給水業務状況は、給水装置数が前年比で1栓増の14,702栓、給水人口で88人(0.3%)減の34,184人となりました。なお、年間有収水量は、152,764m³(4.0%)減の3,660,590m³となり、経済活動の低迷による企業の水需要の低下、家庭での節水意識の高揚が大きく影響し、例年にも増して大幅な減少になりました。

水道施設の構築については新島地区の配水管増設工事、下水道整備事業等に併せた配水管布設替工事を施工し、また第3浄水場においては、自家発電設備の更新を行いました。

経営状況(税抜)は、総収益が552,328,481円に対して、総費用が573,999,413円で、当年度純損失21,670,932円を計上しました。

水道事業収益の主なものは、水道料金513,407,458円で、収益全体の93.0%を占めています。一方、水道事業費用の主なものは、企業債利息41,897,452円(7.3%)、減価償却費202,626,983円(35.3%)、職員給与費57,502,505円(10.0%)、県水受水費70,855,200円(12.3%)、動力費32,798,497円(5.7%)で費用全体の70.6%を占めています。以上の結果、供給単価は140.25円、給水原価は152.40円になりました。

資本的収支(税込)の総収入額が41,075,676円に対して、支出が建設改良費157,393,058円、企業債償還金84,951,938円、投資99,970,000円で、総支出額342,314,996円となりました。なお、不足の301,239,320円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,086,573円、建設改良積立金100,000,000円、過年度分損益勘定留保資金196,152,747円で補てんしました。

以上が、平成21年度における経営並びに事業実施の概要であります。今後におきましても、町民に清浄にして豊富低廉な水の安定供給を図るため、水源の確保と効率的な事業運営に取り組み、公共福祉の向上に努める所存です。